

令和 5 年 12 月 6 日

大臣官房参事官(イノベーション)

ロボットによる点検 DX はじめます

～ DX で進化する施設管理の省人化 ～

日常的な施設の点検や、災害時・障害時における、迅速な対応を実現するため遠方施設におけるロボットの自動・遠隔操作による遠隔監視の実現に向けた試行を行います。これにより、施設管理の省人化・効率化・迅速化につなげます。

➤ 実証実験の内容

国土交通省では DX の一環として施設の維持管理の省人化、効率化、迅速化に取り組んでおり、その取組の一つとしてロボットの自動・遠隔操作による遠隔監視の検証を行います。現在は施設内においてロボットによる点検や障害対応を想定した動作試験を行っており、今後は山岳地や離島の施設における試験を予定しています。

➤ 期待できる整備効果

ロボットによる遠隔での現地確認が可能となることで、従来の点検や障害対応に比べ、**人員の拘束時間の減少(省人化)**、**現地作業の効率化(効率化)**、**障害の早期復旧(迅速化)**が期待できます。また、積雪や災害による道路通行止など**技術者が入局できない場合でも迅速な対応が可能**となります。

➤ 検証内容説明会

報道関係の皆様へ、現時点における本検証内容の説明会(デモ)を行いますのでお知らせします。

日時 令和5年12月12日(火) 10:00～

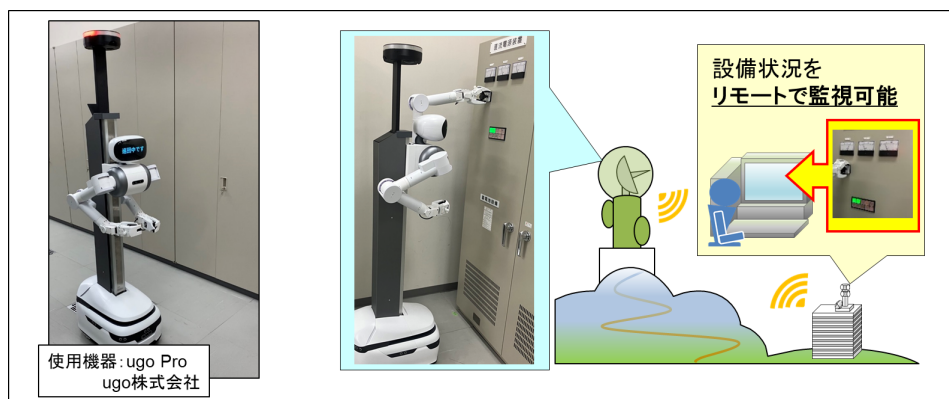
場所 中央合同庁舎3号館11階 インフラ DX ルーム

※詳細は別紙参照

➤ その他

本検討は電気通信技術ビジョン4の施策です。

参考：電気通信技術ビジョン4 <https://www.mlit.go.jp/report/press/karbo08_hh_000948.html>



【問い合わせ先】 大臣官房 参事官(イノベーション) グループ 電気通信室
企画専門官 上原
情報通信技術係長 山田

代表：03(5253)8111(内線 22364, 22367) 室直通：03-5253-8223

ロボットによる検証内容説明会(デモ)について

報道関係の皆様、現時点における本検証内容の説明会(デモ)を行いますのでお知らせします。

傍聴は、報道関係者に限り、1社1名程度とさせていただきます。

なお、先着順により、傍聴を制限させていただく場合がございます。

取材を希望される場合は令和5年12月8日(金)12時までに以下の通りメールにてご連絡ください。

日時 令和5年12月12日(火)10:00～

場所 中央合同庁舎3号館11階 インフラDXルーム(東京都千代田区霞が関2-1-3)

内容 検証内容の概要説明、デモンストレーション見学会

<申し込み先>

取材を希望される場合は、以下を記載のうえメールにてご連絡ください。

件名:【取材希望】ロボットによる検証内容説明会

本文:氏名(ふりがな)、所属、連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)

送付先:国土交通省 大臣官房 参事官(イノベーショングループ)電気通信室 鶴田

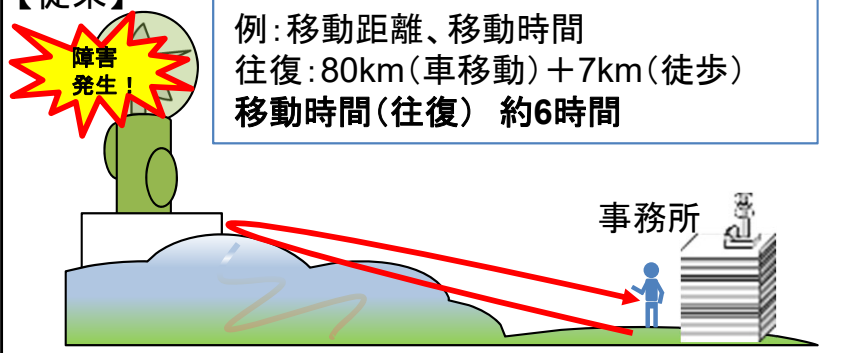
メールアドレス:tsuruta-s8310(at)mlit.go.jp

((at)を@に置き換えた上で、送付してください)

【概要】ロボットによる設備点検

- 災害時・障害時等における、迅速な対応を実現するため遠方施設における**ロボットの自動・遠隔操作による設備点検**を検討中
- 国土交通省の施設内にてロボットによる表示ランプやメータリングの確認、スイッチ操作の動作試験を行っており、今後は山岳地や離島の施設における試験を予定

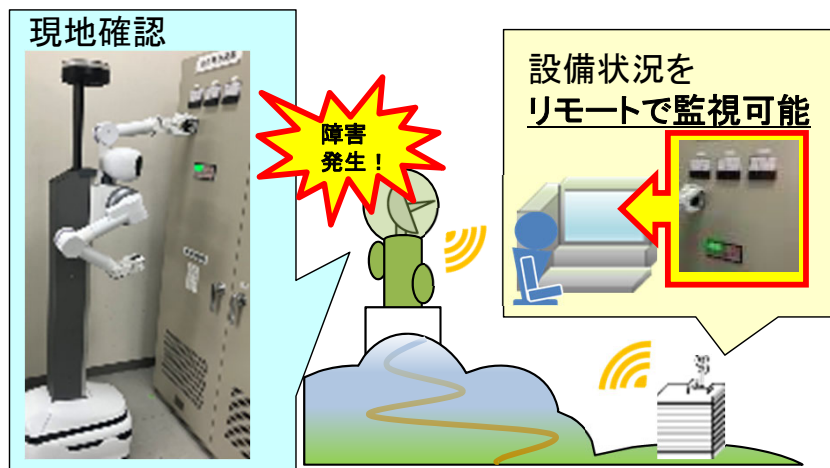
【従来】



事例：山間部無線中継所の設備にて障害発生

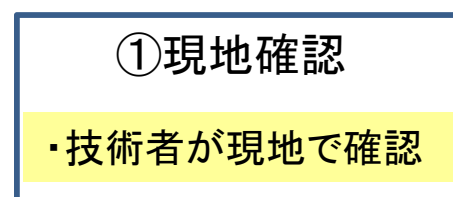
- ・従来の設備障害対応で2回技術者が現地対応していたものが、1回のみとなり対応の迅速化（早期復旧）、人員の拘束時間の減少（省人化）

【将来】

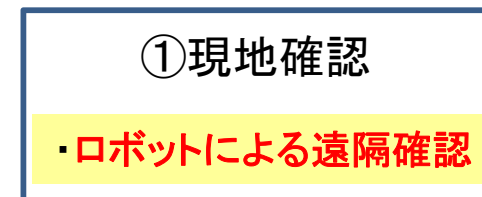


ロボットによる現地確認を行うことにより、
移動時間が不要 **最大0時間に削減**

【従来】



【将来】



②修理対応

交換部品等を準備し、技術者が現地にて修理対応

本件は電気通信技術ビジョン4の施策です。